

<b>トリシクラゾール水和剤</b> <b>ビームエイトゾル</b>	<b>取扱メーカー：</b> クミカ、サンケイ*、住友化学  <b>原体メーカー：</b> ダウ
<b>成分：</b> トリシクラゾール……………8.0%	<b>性状：</b> 淡黄赤色粘稠水和性懸濁液体 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> —

### 【品目特性】……………

- いもち病菌の侵入を防ぎ、安定した予防効果を発揮する。発病後の散布では胞子形成阻止、胞子飛散阻止及び病原性低下作用による二次感染阻止効果が高いため、その後のまん延を抑制する。
- 稲体への浸透移行性があり、吸収が早く耐雨性に優れ、降雨による影響も少ないため長期間安定した高い防除効果を発揮する。
- 他剤耐性菌に対しても高い防除効果を示す。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- 葉いもち；発生が予想される時、又は初発生を見た時直ちに散布する。
- 穂いもち；穂ばらみ後期の散布が効果的である。多発生が予想される場合には、穂揃期頃の散布を追加する。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- 使用の際は、容器をよく振って均一な状態に戻してから所定量を取り出す。
- 希釈する場合には、所定量の水に加えてからよくかきまぜる。
- 250倍で散布する場合は所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用する。
- 適用外作物（野菜類（幼苗）、なし）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

### 【安全対策上の注意】……………

- 空中散布及び無人ヘリコプター散布の際は、共通注意事項の2. 空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。



### 【適用と使用法】……………

作物名	適用 病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	トリシクラゾールを 含む農薬の総使用回数
稲	いもち病	原液	150 ～ 200 <i>ml</i>	7 日前 まで	3 回以内	空中散布	4 回以内 (育苗箱への処理 は 1 回以内、本田 では 3 回以内)
		15 ～ 20 倍	3 <i>ℓ</i>				
		4 ～ 5 倍	800 <i>ml</i>				
		5 ～ 8 倍					
		250 倍				25 <i>ℓ</i>	
		1000 倍	60 ～ 150 <i>ℓ</i>			散布	